



世界のコンドーム価格とHIV罹患率



○長松康子（聖路加看護大学）仙波百合香（聖路加看護大学大学院）宮口 萌、宮下友里、大山季恵、原 瑞恵（聖路加国際病院）
佐々木空美、柳田美智子、影本菜穂子、石黒友理（東京大学医学部附属病院）

【はじめに】1997年に初めての患者が発見されて以来、HIV/AIDSは増加の一途をたどっている。いまだに決定的な治療薬及びワクチンは開発されておらず、感染予防が最も有効な対策である。中でもコンドームは安価で効果的な感染予防策のひとつである。本研究は、世界各国のコンドーム価格を調べ、HIV予防への影響について資料を得ることを目的とした。

【方法】調査期間：平成18年7月から9月

調査方法：渡航先の国々でコンドームの値段を調査した。最も一般的で、誰でも購入しやすいものとして、もっとも安価な3個入り(またはそれに最も近い個数)のものを対象とした。

調査場所：女性や若者が出入りしやすく、コンドーム購入に抵抗感が少ない場所として、セブンイレブンコンビニエンスストア(ない場合は、それに近い商店)とした。

分析方法：各国のコンドーム価格を平成19年4月17日の為替相場により円に換算し、ピアソンの積率相関係数を用いて、HIV有病率等(UNICEF子ども白書2005年)との関連を分析した。

【結果】調査を行った11カ国のうち、エジプト以外の10国のコンビニエンスストアでコンドームが販売されていた。コンドーム3個当たりの価格は45円から562円であった。3個入りが販売されていない国が3カ国あった。生産国は、欧米はアメリカ製が多く、アジアは日本(日本製)を除いてマレーシア製であった。コンドーム価格は、一人当たりGNI(相関係数0.811)と相関があり、15-49才のHIV有病率、女性のHIV有病率とは相関がなかった。



国名	コンドーム価格(円)	HIV罹患率	女性有病率	GNI
インドネシア	45	0.1	15	1140
タイ	113	1.5	200	2540
カンボジア	117	2.6	51	320
日本	268	0.1	2.9	37180
アメリカ	350	0.6	240	41400
カナダ	363	0.3	13	28390
豪州	373	0.1	1	26900
ドイツ	494	0.1	10	30120
スペイン	538	0.7	27	21210
イギリス	473	0.6	7	28350
エジプト	-	-	1.6	1390

表1. 各国のコンドーム価格とHIV指標

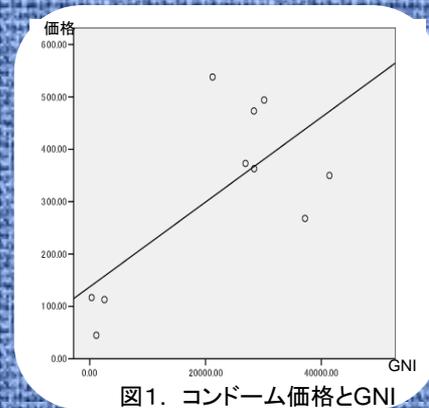


図1. コンドーム価格とGNI



使用方法が記載されたパッケージ

【考察】エジプトのコンビニエンスストアでコンドームが販売されていない背景には、セックスに関してタブーの強いイスラム教の影響があるものと考えられる。コンドーム価格がHIV関連指標でなくGNIと関連していたことは、コンドームに対して支払える金額が、HIVの脅威より生活水準に影響されることを示している。これは、貧しい国の人でもそれなりの値段でコンドームが購入できることを意味し、必要とする人がコンドーム購入を実現する上で重要な意味を持つ。GNIの高い国と低い国とで生産国が異なるのは、それぞれに見合ったコストを実現した結果ともみられる。今回の調査は11カ国に限られているため価格のHIV予防との関連を明らかにするためにはより大きな調査が必要である。

【結論】コンドーム価格は、経済的に豊かな国ほど価格が高かったが、HIV有病率や女性のHIV有病率とは関連がみられなかった。

コンドーム収集にご協力くださった学生の皆さん、ありがとうございました。